

課題	● 宮古島島内の移動における、路線バス、タクシー等の交通機関の利便性向上 ● 路線バス(4社)の運賃収受方法が不統一となっていることの解消(キャッシュレス未対応2社) ● 高齢者等の交通弱者の活動を支える移動手段の確保
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● エリア内の路線バスとタクシーの利用が可能なMaaSアプリを導入。 ● キャッシュレス未対応の路線バス2社に対し端末導入を行うことでSF乗車対応を行いつつ、エリア内のバス、タクシー利用をセットにした企画乗車券を造成し、QRチケットによるデジタル認証を可能にする。 [モビリティ・データの取得と活用] ● エリア内のバス事業者、タクシー事業者から本企画券利用時の認証履歴から利用実績(ODデータ)を取得する。 ● ODデータを活用し、市内の周遊状況を可視化。低利用路線の廃止と代替交通としてのデマンドバスの導入検討の資料として活用する。 [地域交通政策等との連携] ● R6年に策定された宮古島市地域公共交通計画ではR10年までに持続可能な公共交通、誰でも利用しやすい公共交通の提供等が基本方針として掲げられており、MaaSアプリから取得したODデータや利用者情報を用いて、路線バスにおける路線再編や、利用環境、運賃体系などの改善、新たな交通体系の導入などの検討、実施に利活用する。
効果	● MaaSチケット導入およびキャッシュレス対応による地域公共交通の利便性向上 ● 本取り組みによる公共交通の利用促進および市内周遊促進 ● 交通再編への参考となる利用データの収集、利活用
事業の新規性	■ 宮古島における主な既存交通網のキャッシュレス対応と、路線バスとタクシーとの連携によるマルチモーダルなMaaSチケットの提供

事業エリア/交通事業(予定)	事業エリア:宮古島市 バス事業者:宮古協栄バス、八千代バス、共和バス、中央交通 タクシー事業者:まるちくタクシー
MaaSアプリ等	● MaaSプラットフォーム:ジョルダンモバイルチケットサービス ● タクシー配車連携システム:調整中
データの活用等	■ データの取得方法:MaaSアプリから利用者情報、バスのODデータを認証機から取得 ■ データの活用方法: ODデータや利用者情報を用いて、路線バスにおける路線再編や、利用環境、運賃体系などの改善、新たな交通体系の導入などの検討、実施に利活用

